

# 開かれた議会を目指して ～令和6年度 議会報告会・意見交換会～

## 【報告書】



1	議会報告会・意見交換会の概要	.....	P 1
2	テーマ別報告書	.....	P 2 ~ P 9
3	参加者アンケートの集計結果	.....	P 12 ~ P 17

太田市議会  
議会報告会・意見交換会実行委員会

## 1 議会報告会・意見交換会の概要

- (1) 主 催 太田市議会
- (2) 日 時 令和7年1月18日(土)  
午後1時30分～午後3時
- (3) 会 場 太田市役所
- (4) テーマ
- ① 多文化共生に関することについて
  - ② 文化財の保存と有効活用について
  - ③ 健康ポイント(わくポ)について
  - ④ 観光資源の活用について
- (5) 参加者数
- ① 多文化共生に関すること 19名
  - ② 文化財の保存と有効活用 12名
  - ③ 健康ポイント(わくポ) 10名
  - ④ 観光資源の活用 10名
- (6) 次 第
- 1 開 会
  - 2 あいさつ
  - 3 テーブルごとに意見交換
    - ・自己紹介
    - ・意見交換
    - ・まとめ、発表
  - 4 閉 会

※ 意見交換会を中心としたため、書面の配付をもって議会報告に代えさせていただきました。意見交換会は、議員と市民が少人数のグループに分かれて自由に意見を出し合う、グループディスカッション方式で実施しました。

## 2 テーマ別報告書

### 「多文化共生に関することについて」

#### ■サブテーマ

- ① 生活習慣、言語について
- ② 税金、医療、福祉について
- ③ サークル、スポーツについて

#### ■参加議員

【司会進行】高木きよし

【Aテーブル】◎八長孝之 高木きよし 神谷大輔 岩瀬僚

【Bテーブル】◎白石さと子 渡辺謙一郎 谷之木勇作

※ ◎はテーブルリーダー

#### ■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

##### 【Aテーブル】

##### ①生活習慣、言語について

###### (1) 生活習慣

- ・異文化交流は凄く楽しいことと凄く大変なことが半々であり、文化の衝突があるが、乗り越えると楽しい。
- ・外国人は祖国の生活習慣が染みついているため、解決するまでに何年も時間がかかる。ゴミの分別ができず、説明しても分別しない。市からのパンフレットは読まず、理解も十分でないため、丁寧な指導が必要である。
- ・資源ごみの分別について、サンプルを使用して教えたり、動画でオリエンテーションを行ったりなど、やり方を丁寧に説明する必要がある。
- ・日本ではゴミを分別しないことは不法投棄と同じだと教えている。ゴミ置き場からゴミを持ち去るのは犯罪であり、防犯カメラを設置して対応している。
- ・ゴミの分別について何回説明してもわかってもらえず、繰り返し説明している。
- ・日本語を教えているが、学びに来る外国人はトラブルを話してくることが少ないため、もう一步踏み込んだ関係をつくり、聞き出していきたい。
- ・生活ガイドブックを読ませるだけでなく、ゴミの分別や災害対応など、具体的に教える必要がある。太田市ワンストップセンターが市役所一階にあり、通訳を介し説明してくれるので活用してほしい。

- ・太田市は企業が多く就職しやすい。太田工科専門学校では現在120名が夢をもち学習している。日本で働くためには日本のやり方をマスターする必要がある。
- ・動画は記憶に残るため、会社で1年に3～4回、説明の動画を視聴してもらう。
- ・繰り返し説明することが必要。ゴミの分別に加え、車購入時の任意保険加入も対物対人無制限の保険加入するよう、オリエンテーションを実施する必要がある。
- ・各行政センターに通訳をローテーションで派遣し、ガス、水道、公共料金などの説明会や手続きを代行して済ませられるようにしてほしい。

## (2) 言語

- ・日本語が通じない外国人が多いと感じている。
- ・行政で考えている外国人政策は現実とかけ離れている。就職するためには銀行口座の開設が必要だが、日本語の申請用紙を記入することが出来ず、困っている。
- ・漢字が読めず、郵便ポストの投函口が2つあったとき、どちらに投函すればよいかわからなかった。
- ・来日して間もない頃、友人の自転車を借りて外出した際に、警察から職務質問され、携帯電話を持っていなかったため、警察署まで連れていかれた。
- ・親戚が来日した際に病気になったが、日本語ができないため、病院に電話してコミュニケーションがとれなかった。
- ・今はスマートフォンで翻訳して伝えられるようになったが、病院の手続きがとても難しく、とても困った。

## 【Bテーブル】

### ①生活習慣、言語について

- ・日本も外国の影響を受け、自ら変わることが大切である。
- ・外国人差別はあるため、学校側としては外国人として自分から挨拶するように指導した結果、地域が変わってきた。
- ・当初はゴミ出しの分別方法が分からず間違っていた。間違っていたら間違っていると最初から教えてほしかった。
- ・日本人は海外で同化しようとするので、それを日本でも求めてしまう傾向がある。挨拶は日本人よりも外国人の方がするので、見習うところも多い。
- ・子どもから「何で私だけ名前がカタカナなの？」と言われたことがある。子どもたちに国際理解の教育をする必要がある。
- ・大きな声で話すのは海外では当たり前だが日本では違う。相互理解が必要。
- ・日本語教育をボランティアだけでなく、市や政府が積極的におこなってほしい。
- ・ゴミの出し方や水漏れ、排水溝への油廃棄、週末のパーティー等の苦情が多い。
- ・ゴミの出し方を英語で書かれていても理解が難しい。手取り足取りでやっとならるようになる。市でも多様な言語で案内を作成しているが、紙だと見ないことも

多いので、オリエンテーションなどで教える必要がある。

- ・海外では当たり前でも日本ではダメなことが多いので、相互理解が必要である。

## ②税金、医療、福祉について

- ・税金を正しく理解できていない。
- ・学生に対しての税金が高い。
- ・就学ビザなので1週間で28時間しか働けない。月額10万円の中から国保や家賃を支払っている。
- ・外国人向けの指定病院を設置し、海外の言葉でサポートする体制が必要である。県では実施しているので、市でも実施する必要があるのではないか。
- ・外国人を助けるボランティアをしたいが、どうすればよいのか分からない。
- ・多文化共生センターの部屋が狭い。日曜日は200人ほど来るため、入りきれない状況である。市で検討してほしい。

## 「文化財の保存と有効活用について」

### ■参加議員

【司会進行】前田純也

【Aテーブル】◎松川翼 尾内謙一 前田純也 山水めぐみ

【Bテーブル】◎大川陽一 山田隆史 高野博善 仁藤すぐる

※ ◎はテーブルリーダー

### ■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

- ・市内の文化財を総合的に紹介する「文化財センター」の設置が必要。
- ・各ジャンルごとの専門的な高い知識をもつ専門員の配置が必要（学芸員など）。
- ・国立博物館での展示を契機に「武人はにわ出土の地」であることをもっとアピールしてほしい（挂甲の武人が出土した長良神社のレプリカPR、レプリカを市役所内に展示するなど）。
- ・資料館以外の史跡の文化財を見学する人のための配慮が足りなさすぎる。案内板やトイレ、駐車場などを整備してほしい（天神山古墳の周辺整備が特にひどい。「東日本最大」という価値があるわりに入り口や駐車場の場所がわからない）。
- ・獅子舞の保存について、県内他市はもっと予算がついている。
- ・予算増が難しいならクラウドファンディングやふるさと納税を活用してはどうか。
- ・市内の文化財に対するリスペクトが行政に感じられない。本市の文化財の価値を深く理解し、愛情や情熱のある人をトップ人事に起用してほしい。
- ・文化財への思い入れが強い市民の意見や声が届いていない。
- ・11月3日の文化の日に文化財への意識が高まるイベントや企画を実施してほしい。

#### 【Bテーブル】

- ・太田市は多くの文化財を有し、貴重な地域資源があるが、活用が進んでいないと感じる。
- ・文化財の価値が市民に広く知られていない。まずは市民に知ってもらうことが大切だと考えている。
- ・提案や相談事に対する役所の対応に対して不満を感じている。
- ・市民が誇りに思えるような文化財のPRを自信を持って進めてほしい。
- ・ボランティアでガイドをしているが、外に発信する力が弱いと感じている。
- ・太田市外から移住して来たが、地元の方々が歴史的な遺産を知らないことに驚いた。

- ・太田市の観光交流に関わり、ガイドのフォローを行っているが、市としてもっと盛り上げてほしい。
- ・文化財課だけでは金山史跡の管理が行き届かないと感じる。観光交流課との連携など、役所内の課同士の連携が不十分であると指摘したい。
- ・金山ガイド施設には良い会議室などがあるが、規定が厳しすぎて、ガイド施設の活用に問題があると感じている。緩和が必要。
- ・市民や観光客に文化財の良さを伝えるために、現状ではPRが全く足りない。
- ・長良神社に置かれるはにわのレプリカや、天神山古墳周辺の整備や管理が行き届いていない。看板が古くてボロボロで、地域の歴史が伝わらない。
- ・神社仏閣や古墳の管理が酷く、公共施設としての利用価値が低いと感じている。
- ・公園や古墳の管理の継続性がない。案内板を立てただけで終わっている。
- ・相談や提案に対する役所の対応が「できない」という回答が多すぎる。国、県、市など管理関係が複雑で、市としても手がつけにくい状況であることは理解できるが、それを言い訳にせず、民間の力を活用するなどして、まちづくりを進めるべき。行政側に問題点を解決するための意欲がなさすぎる。
- ・館林市や嬭恋村、高崎市は地域計画が進んでおり、太田市でも自慢できる地域の歴史や文化財をストーリーとして作り、観光と文化財課が連携するべき。
- ・市民憲章に掲げられている「歴史を学び」「文化を育てる」ための取り組みが求められる。

## 「健康ポイント（わくポ）について」

### ■参加議員

【司会進行】矢部伸幸

【Aテーブル】◎高橋えみ 矢部伸幸 大川敬道 若林卓実

【Bテーブル】◎町田正行 長正祐 青木雅浩

※ ◎はテーブルリーダー

### ■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

- ・3か月アプリを使用したけど、他のアプリに比べてストレスを感じた。
- ・自分のレベルがどのようにして上がるのか分からない。
- ・脳トレの種類やパターン（計算、言語、間違い探し、ブロックを数える等）が少なく、飽きてしまう。
- ・脳トレのパターンが少ないため、飽きてしまう。もっとバリエーションを増やしてほしい。また、レベルを選べるようにしてほしい。
- ・もっと楽しめるように、レベルを選べるようにした方がよい。
- ・わくポの認知度向上のため、講習会を開催した方がよい。
- ・他のアプリを利用してウォーキングしている。理由はポイントも多くたまるため。
- ・Q&Aが充実していない。
- ・他にたくさんアプリがあるため、わざわざわくポを使わない。
- ・ウォーキングなどは他にたくさんアプリもあるため、わざわざわくポを使わない。
- ・注意力が高まり、良い点もある。
- ・高齢者だけではなく、若い人も含めて、太田市の財産である金山のウォーキングなどにポイントを付けてほしい。
- ・1度に長い距離を歩けない。自分で目標歩数を決められるようにしたい。
- ・ウォーキングは自分で目標歩数を決められるようにすべき。
- ・ゲートボールやグラウンドゴルフなど、種目を決めてイベント登録すべき。
- ・太田市老人クラブの人数がどんどん少なくなっている。区長会を巻き込んで、市議会議員も協力して組織力を高めていければよい。楽しいイベントを開催していけば、人も集められるようになる。
- ・アプリを登録しているが、人が少ないため、各地区で講習会などを開催して認知度向上に努めるべき。

- ・上州太田七福神めぐりスタンプラリーやウォーキングなどイベントを開催して、利用者を増やしていくべき。

#### 【Bテーブル】

- ・わくポについてまだまだ認知されていない。
- ・わくポのアプリを導入する方法が分からない。
- ・多くの方が集まるところでわくポについて説明した方がよい。その時にわくポの導入までフォロー、サポートするのがよい。
- ・アプリ仲間同士で活用していただき、導入後はその輪を広げてもらうのがよい。
- ・歩くだけでなく、イベント等での参加でもポイントが付くとよい。
- ・行政のイベントだけでなく、各自治会でのイベントなどでもポイントが付くようになるとよい。
- ・行政のイベントとしてわくポを活用したイベントを開催するとよい。
- ・ポイントの交換が半年に1回のため、せめて3か月に1回など、頻度や回数を増やしてほしい。
- ・ポイントが付与されることは非常に良いことだが、本来の目的である自己の健康を管理するためのアプリのため、改めてその点をしっかりとPRしてほしい。
- ・脳トレはやってみると楽しい。令和6年12月の太田市老連の会合で初めてわくポのことを知った。
- ・高齢者もスマートフォンに慣れないとだめだと思う。
- ・認知症カフェ開催時にわくポの案内をしており、多くの利用者から登録したいと言われるが、チラシしかなく、実際に事業所職員が登録できないため、実際の使用方法やポイントの取得方法について伝えられない。
- ・介護事業所のスマートフォンでわくポを登録できるようにしてほしい。利用者から登録希望があった際に、実際に画面を見せながら伝えられるようになれば、わくポの案内がしやすくなり、メリットも伝えやすい。
- ・わくポを通じて介護度の改善、認知症予防も出来ると思うので、利用者に伝える事業所職員が、より深くわくポの使い方を知ることができるようにしてほしい。

## 「観光資源の活用について」

### ■サブテーマ

- ① お祭りについて
- ② イベントについて
- ③ スポーツについて

### ■参加議員

【司会進行】木村浩明

【Aテーブル】◎星野一広 木村浩明 松浦武志 清水梨花

【Bテーブル】◎水野正己 久保田俊 川岸靖隆

※ ◎はテーブルリーダー

### ■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

- ・東日本最大の古墳である「天神山古墳」を公園のように整備する。
- ・武人埴輪のPRで歴史的価値も同時にPRして興味関心をもってもらう。
- ・金山にウォーキングやサイクリングが楽しめるコースを整備して活用する。
- ・朝市の開催で地場産品を販売。
- ・新田義貞挙兵700年祭で武者行列を行う。
- ・ユーチューバーにPRしてもらい、より多くの人に太田の魅力を発信する。
- ・スネークセンターや三日月村と連携して、イベント開催。

#### 【Bテーブル】

- ・スバル本工場の排水口のグレーチングに「中」の文字があるが、こうしたスバルの歴史をラビットスクーターでツーリングツアーを行う。
- ・金山城跡、池や道の整備と金山城復活祭の実施。
- ・世良田祇園祭りは山車も鮮やかで迫力があるので太田市内の中心で行う。
- ・武人埴輪の大きなもの（大魔神のような）を太田駅前に設置する。
- ・藪塚温泉の再興。
- ・天神山古墳の駐車場やトイレを整備して観光者が寄りやすくする。
- ・大光院の再興（保育園、臥龍松）。
- ・SNSで若い人向けに発信して、若い人に魅力を伝える。

令和7年1月18日（土）  
当日の様子

議会報告  
（オープニング）



○多文化共生に関することについて



○文化財の保存と有効活用について





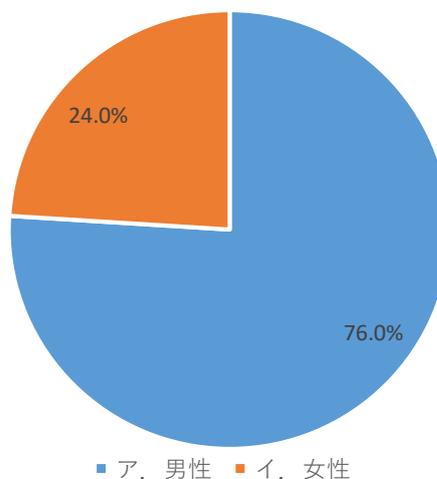
○健康ポイント（わくポ）について

○観光資源の活用について

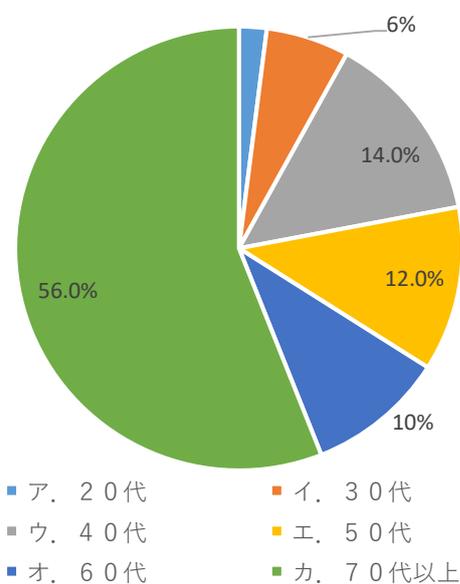


## 令和6年度 議会報告会・意見交換会 参加者アンケートの集計結果

性別	
ア. 男性	38
イ. 女性	12



年齢	
ア. 20代	1
イ. 30代	3
ウ. 40代	7
エ. 50代	6
オ. 60代	5
カ. 70代以上	28



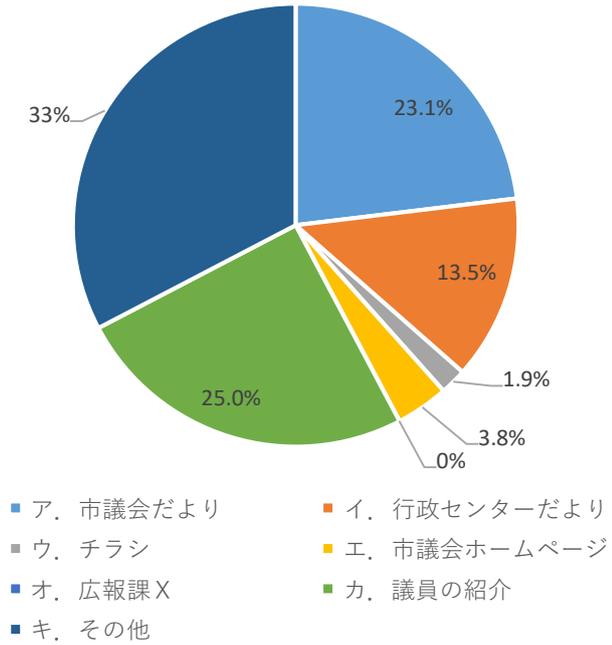
お住いの地域	
太田	4
九合	8
沢野	3
葦川	4
鳥之郷	2
強戸	2
休泊	0
宝泉	6
尾島	2
藪塚	4
市外 (桐生市)	1
県外 (足利市)	2

意見交換会をどのように知りましたか。

※複数回答あり

ア. 市議会だより	12
イ. 行政センターだより	7
ウ. チラシ	1
エ. 市議会ホームページ	2
オ. 広報課 X	0
カ. 議員の紹介	13
キ. その他	17

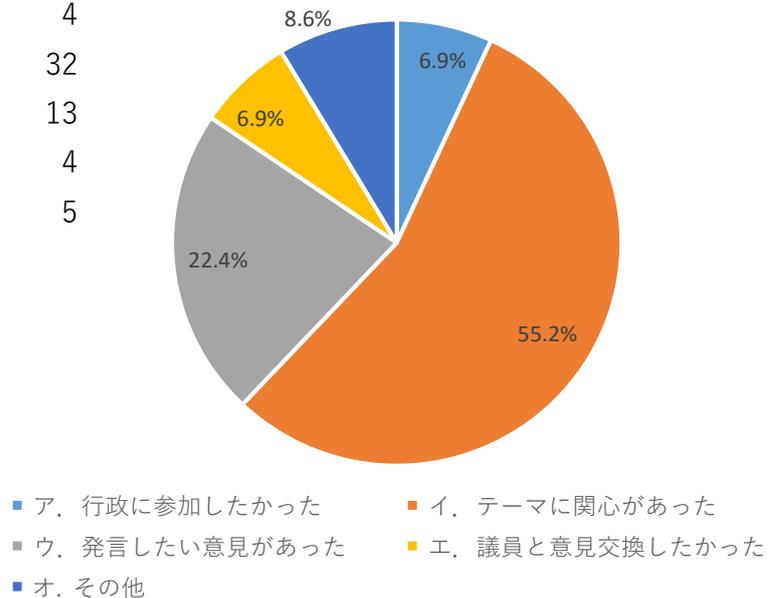
所属する団体・サークルより	(8)
市の担当課・市の団体より	(4)
知人より	(1)
友人より	(1)
学校より	(1)
未記入	(2)



意見交換会への参加を決めた理由。

※複数回答あり

ア. 行政に参加したかった	4
イ. テーマに関心があった	32
ウ. 発言したい意見があった	13
エ. 議員と意見交換したかった	4
オ. その他	5

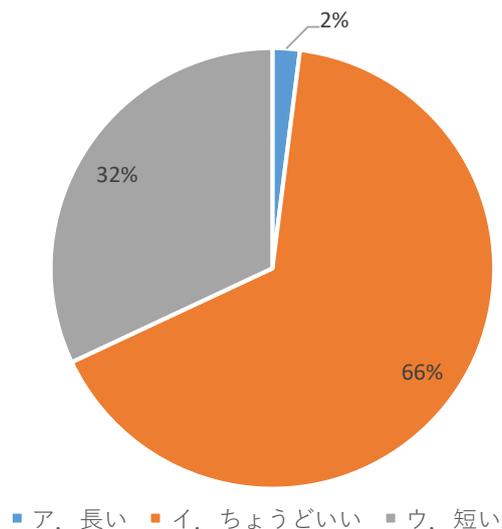


(その他の理由)

- ・ こどもの国としての発展をふまえて観光活動
- ・ 議員から出席を促されたから
- ・ 観光的な話をしたかったから

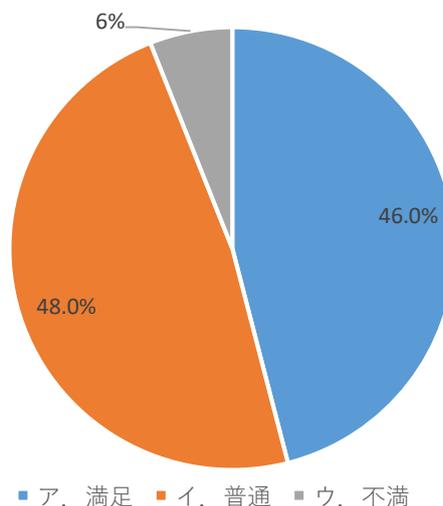
グループディスカッションの時間について。

ア. 長い	1
イ. ちょうどいい	33
ウ. 短い	16



グループディスカッションの満足度について。

ア. 満足	23
イ. 普通	24
ウ. 不満	3



(満足の理由)

■意見について

- ・コメントは興味深い。
- ・外国の方にも参加して頂き、生の意見を聞くことが出来て良かったです。
- ・多くの市民の意見で共通していることがわかった。
- ・皆さんの熱い思い、市への要望にうなづきながら聞き入りました。
- ・市議の方々の思いも伝わりました。
- ・お話ししたいことをお話できました。
- ・皆さんの意見が伺えて勉強になった。
- ・こういう機会があるのはとても良いと思う。いろいろな角度からの意見を聞いた。
- ・参加者の経験を様々聞いた事が良かった。
- ・意見交換会の機会を増やしてほしい。いい機会を頂いた。
- ・皆様同意見なので、びっくりでした。各関係グループと連携して、役所と話し合える  
とよいです。

■その他

- ・とても良かったです。
- ・回答して頂き有難うございます。
- ・色々な意見と既存も太田市にあるものの活用であった事が良かったと思います。
- ・人数がちょうど良い。（観光資源）
- ・もう一度あってもいいかな。

(不満の理由)

■時間について

- ・時間短く不十分。
- ・時間は少し短いので、今度は1時間プラスでお願いします。
- ・せっかく集合したのでテーマ別の時間が長くほしかった。
- ・委員会室、議場の案内、紹介に時間をさくのは時間が勿体ない。発言する機会が1回だけで、聞きたいことが聞けなかった。
- ・時間があと30分くらいは必要かと思います。
- ・時間が足りない。
- ・時間が足りなかった。
- ・まだまだ言いたりないことがあった。

■テーマについて

- ・テーマが広過ぎて、発言のあったサブテーマを掘り下げるべき！
- ・観光資源を再確認できたが、その資源をどのように活かしていくのか、そもそも活かしていく必要があるのか、議論の場がほしい。

■その他

- ・天神山古墳の駐車場とトイレの整備をお願いしたい！

今後、グループディスカッションで取り上げたいテーマ。

■多文化共生

- ・引き続き、多文化共生
- ・多文化共生のオリエンテーション
- ・もっと文化交流したい。
- ・多文化共生のテーマ継続

■文化財

- ・太田市も「文化財保存活用地域計画」の制定に向かって検討して進めてもらいたい。
- ・文化財、自然（金山、八瀬川 他）、保全
- ・文化財関係をもっと幅広く。
- ・新田郡庁
- ・文化財のテーマを半日、できれば数日！
- ・文化財の保存と有効活用

■交通

- ・公共交通機関について
- ・地域の移動手段としての無料バス等を買物、病院以外にも使える様にして欲しい。
- ・市内の幹線道路の渋滞緩和の方策

■観光

- ・エリアをしばって（太田市も広いので）の観光などにしても良いと感じました。
- ・観光とサービス

■その他

- ・青少年育成事業（中・高校生が地域活動を通して活躍できる基盤づくり）
- ・今回のテーマ（健康ポイント）のパートIIで進捗を知りたい。
- ・行政の業務と（無償）ボランティアのやる事の切り分けを市全体として体系づける方向性について
- ・子どもの遊び場について
- ・戦後太田の歴史

市議会について知りたい情報や期待すること。

■市民との意見交換

- ・情報交換を取っていただけると幸いです。
- ・年1回に限らず設けてほしい。
- ・市民との話し合い

## ■SNSの活用

- ・今でもホームページなどで議会の中身を知ることができるが、SNS等で小出しに情報発信してほしい。
- ・SNSの活用

## ■その他

- ・1にスポーツ、2に芸術、3、4がなくて5に箱もの造りをやめて、歴史と文化財の維持、活用に人と金を投入して欲しい。
- ・私が感心があるのは監査委員会（決算委員会に期待します）。
- ・議場見学を身近なものにしたい。
- ・議員の対応が非常に良い。

## その他市議会に対するご意見

- ・今後も、意見交換の機会をいただけると幸いです。
- ・ワンマン市長で大変かと思いますが、「よりよい太田市」作りにがんばってください。
- ・活発的な意見ができた。
- ・今回は水野議員の仕切りがうまい。
- ・多文化共生に関しての条例が新規にできたとのこと。内容をどこで市民が見られますか。
- ・もう少し、若かったら・・・・・・・・！！
- ・議員さんの質問が表面的に思うことがあった。もっと深く。
- ・同じ会場で2つにわかれると集中できなくなる。他の事が入ってくる。工夫してみては。